



市議会だより

第174号

平成29年12月15日



今秋も市内で多くの
スポーツイベントが開催されました

9月定例市議会

平成28年度決算と
平成29年度補正予算を審議

一般質問・・・3～8

- ◆主な事業と予算額・・・2
- ◆常任委員会審査報告・・・3
- ◆新しい鳥栖市議会が始まります!・・・8
- ◆議決結果・・・9
- ◆意見書・陳情・・・10
- ◆議会日誌・編集後記・・・10

市議会だよりの
バックナンバー



9月定例会

9月定例会は9月1日から10月5日まで開かれ、市長提出議案21件、議員提出議案5件の審議のほか20人の議員が一般質問を行いました。

今定例会には、今年度の補正予算や3件の条例のほか、平成28年度諸会計の決算が提案されました。

今回提案された補正予算は、補助事業については、国庫支出金等の内示に伴い、高齢者福祉施設に対するスプリングラー設置補助金などが計上されました。

また、単独事業としては、さが未来スイッチ交付金を活用したお試し移住施設整備事業費、曾根崎町公民館増築工事補助金、河内河川プール駐車場用地取得費、地域休養施設改修費、側溝及び交通安全施設の整備費、鳥栖駅周辺整備事業費、地方創生応援税制の寄附の申し出により実施するベストアメニティスタジアム塗装改修事業費、7月の豪雨で被害が生じた林道の復旧費などが計上されました。

市長提出議案は 全て原案のとおり可決

決算を除く議案は、9月21日に採決を行い、市長から提出された議案は全て原案のとおり可決されました。

平成29年度 一般会計補正予算

補正額 **11億4,028万1千円**
予算合計 244億8,444万2千円

【主な歳入】	
地方交付税	4,892万2千円
繰越金	7億4,196万6千円
市債	1億3,840万円

主な事業と予算額

- 鳥栖駅周辺整備事業……………4億5,789万2千円
- 滞り型農園施設等改修事業……………1億40万円
- ふるさと「とす」応援寄附金事業……………5,145万4千円
- 道路側溝等工事費……………2,000万円
- お試し移住施設整備事業……………1,535万6千円
市内への移住促進と既存集落の活性化を図るもの
- スタジアム塗装改修事業……………1,300万円
地方創生応援税制による寄附の申し出により、スタジアムの塗装改修を行うもの
- 河内河川プール駐車場整備事業……………1,265万1千円
河内河川プールの駐車場不足を解消するため、新たな駐車場を整備するもの
- 交通安全施設等整備事業……………500万円
- 地域介護・福祉空間整備補助金……………322万7千円
- 公民館類似施設整備補助金……………161万円
- 犯罪被害者等見舞金……………40万円
犯罪被害者等の経済的負担の軽減を図るため、新たに見舞金を支給するもの
- 林道単独災害復旧経費……………32万7千円

常任委員会での 決算審査概要

決算に関する議案はそれぞれの常任委員会に付託され、9月29日から10月3日にかけて審査が行われました。各委員会での質疑の主なものは以下のとおりです。

総務文教 決算審査

職員採用試験の見直しに伴う職員研修の今後のあり方。大規模事業に備え、積み立てるべき基金の種類と規模。特別支援学級等生活指導補助員の確保。放課後等補充学習支援事業の概要と成果。中学校の完全給食に向けた見直しとスケジュール

建設経済 決算審査

さが園芸農業者育成対策事業の交付対象者と事業内容。交通事故発生率全国ワーストワンからの脱却に向けた取り組み。ミニバスの乗車アンケ

厚生 決算審査

トの実施とミニバスの利用促進策。お試し移住施設整備事業の地区の公共下水道整備の可能性。公共事業の計画的な発注について配慮することに関する要望

平成28年度会計決算を すべて認定

委員会で審査された平成28年度会計決算は、10月5日の本会議で、一般会計は賛成多数で、その他の会計は全会一致で可決・認定されました。

常任委員会審査報告概要

総務文教



総合政策課 お試し移住施設整備事業について、地域活性化策、河内町で取り組む理由

まちづくり推進課 鳥栖駅周辺整備事業について、先行取得用地の概要

総務課 小型動力ポンプ付積載車の配備について、積載車の能力、更新に関する消防団からの要望の有無

建設経済



農林課 河内河川プール駐車場用地購入について、路上駐車場の現状と今後の解消見込み。滞在型農園施設の改修について、改修後の利用見込みと目標設定、今後のあり方、ふれあい広場の現状と整備の必要性、河内町周辺の今後の方向性、景観に配慮した整備。

多目的トイレのオストメイト設置の検討とグラウンドの整備などによる施設の有効活用への要望

厚生



市民協働推進課 町区公民館（公民館類似施設整備補助金）について、建築時期、新築または改修等計画の把握方法、位置づけ、耐震診断費用と耐震工事経費への対応
スポーツ振興課 ベストアメニティスタジアム塗装改修工事について、企業版ふるさと納税の活用に至ったこれまでの経過と今後のスケジュール、公共施設等総合管理計画との整合性、今後のスタジアム改修計画
環境対策課 県東部ブロックごみ処理施設建設協議会での協議の経過と本市の役割



一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対し、市政全般にわたり、事務の執行状況、将来に対する方針等についてたずねるものです。



インターネット録画中継はこちら→

今定例会では、20人の議員が一般質問を行いました。ここには、その中から抜粋したものを発言者順に掲載しています。

掲載した内容は、タイトルを含め、各議員本人が要約したものです。

詳しい内容は、インターネットの録画中継でご覧いただけます。ぜひご覧ください。



市庁舎建替えの建設地

江副康成（天桜会）

問

熊本地震被災を間近に見て、健康スポーツセンター建設を先送りしてまで急遽市庁舎を建て直すとした方針と今回新たに建設候補地として複数出てきたことの整合性はどうなっているのか。もし現有地から離れた新たな場所に移転することも可能なら、新たな誘致合戦とならないか？それにしては周知性がなく拙速すぎる。

答

新庁舎の建設場所は、市民の

利用に便利な位置であること、防災拠点として安全性が確保されること、経済性に優れていること、一定規模の面積が確保できること、建設に早期着手できることという要件をすべて満たす必要があります。

現庁舎敷地につきましては、これらの要件をすべて満たしており、建設場所に適していると考えておりますが、現庁舎敷地以外にも、これらの要件を満たす土地を建設候補地として抽出し、現庁舎敷地との比較が必要と判断いたしました。

このほかの質問 ◆水害対策、大型公共事業の進め方について



高齢者の運転免許について

森山林(自民クラブ)

問 最近、特に高齢者による、重大事故が多発している。ブレーキとアクセルの踏み間違いや、高速道路の逆走等による事故が大半である。高齢者の事故を抑止するためには、免許を返納しやすい環境づくりも欠かせない。本市は75歳以上の高齢者と70歳〜74歳で運転免許証を自主返納した人に路線バスの乗車券を割安で購入できるように助成している。この助成制度を、運転が不安に

なり免許証を更新せず失効した人にも、支援を広げるべきではないか？

答 本市では、自主返納者が高齢者福祉乗車券の交付を希望する場合、運転経歴証明書の提出を求め、確認をしているが、更新しなかった人は、運転履歴を示す証明書がないため対象外となっている。今後は、70歳以上の自主返納者と同様の支援を行っていきたいと考えている。

このほかの質問 ◆民生委員・児童委員の制度について／国民健康保険制度の広域化について



駐車場の拡幅 神辺高速バス停

内川隆則(社会民主党議員団)

問 以前は高速バス停が迷惑施設であったため、鳥栖市内の九州縦貫自動車道にはなく、神辺町の地主の方々の協力で九州横断自動車道に設置されました。そのために、バス停には、駐車場はなく、しかも、山手の方にあり、防犯上の問題が生じてくる様な環境であったため、その利用者は、減少するばかりでありました。そのために、駐車場の確保と環境整備の要望を重ねて行ってま

いりました。その結果、NEXCO西日本の土地を利用し、5〜6台ほどの駐車場を設置してもらいました。しかし、環境も良くなり利用者も多くなって、民有地にも駐車される状況となっています。そのために、駐車場の拡幅を是非とも行ってもらいたいかがでしょうか。

答 駐車場の不足について利用状況を調査し、増設の必要性を判断し、必要な場合、その適地がどこなのか十分な検討を行なってまいります。

このほかの質問 ◆セアカゴケグモ対策／保育士の確保／給食費の無償化



国民健康保険税

尼寺省悟(日本共産党議員団)

問 鳥栖市の国保税の高さは県内で何番目の高さか。

答 所得386万円で、配偶者、子2人で税は74万4,150円で、県内4番目の高さ。

問 県が示す標準保険税率によって値上げが想定される場合、一般会計からの繰り入れで値上げを阻止すべきではないか問う。

また、関連の答弁を受けて、値上げを考えていないならば、一般会計

からの繰り入れをしないとはいえませんが、加入者のさらなる負担増を考えるならば、繰り入れをすると言明すべきだ。

答 現状では平成30年度からの国保税率が見込めないが、一般会計からの法定外繰り入れは考えていない。

このほかの質問 ◆特別教室へのエアコンの整備について／格差と貧困の拡がりについて



鳥栖市の組織と運営について

国松敏昭(公明党)

問 本庁舎建設、駅周辺まちづくり、新産業集積エリア、広域ごみ処理施設など大型事業を行うため、どのような方針で市政を進めるのか。

特に、鳥栖市独自の事業について各部の現状、課題と問題点。また、その課題や問題点を整理するために、現在の人員や予算で足りるのか。もし、足りない場合、お金は借ることもできて、職員を育てるには時間がかかる。特に技術者などをどの

ように補おうと考えているのか。市長は、どのような組織にしたいと考えているのか。また、鳥栖市の強みの強化と、弱みを無くすための対応とその成果は。

答 これから、鳥栖市の向こう数年にわたる基礎的な土台を作り、その実現に向けて大きく一歩踏み出す大変重要な時期と考えており、議会、市民の皆様のご意見も踏まえ、各種施策に鋭意取り組んでいきます。

このほかの質問 ◆今後のインフラ整備と維持管理について／教育環境の改善への取り組みについて



東西方向の4車線道路を

西依義規(新風クラブ)

問

東西方向の交通混雑緩和と横軸の必要性、市役所の防災拠点の強化を考えると、高橋の架け替えも含め、市役所前を通る(都)飯田蔵上線を4車線で整備すべきでは。

答

市街地内に広域移動が主体となる交通が流入するデメリットもあることから、多様な面から総合的に検討していく必要がある。

問

人を呼び込む、まちなかの賑わい創出として、中央公園に大

型の複合遊具を整備すべきでは。

答

スペースも限られているが、鳥栖駅周辺まちづくりとの連携や関係団体と協議しながら、公園長寿命化計画等、国からの支援を含め事業手法を考えていく必要がある。

問

現在行っている「仕事宣言」は、内部でのみの評価となっており、信頼性や客観性を高め、予算の選択と集中を図るためにも、外部評価制度を導入すべきでは。

答

外部評価制度の必要性は認識しているが、外部評価も含め本市にとって最適な行政評価の在り方について調査・研究していく。



安心して預けて働ける環境を!

樋口伸一郎(自民クラブ)

問

①くなくよし会類似民間施設へのさらなる独自行政支援の待機児童解消に向け、民設民営の放課後児童クラブへの補助制度等、本市独自の行政支援を行い、公設と民設の利用料格差をなくし、利用者の負担軽減へ繋げていけるような検討ができないかお尋ねします。

答

現在、補助金については、国や県の各種補助金を活用し事業者に支援しております。また、指導

員の確保に向けて、事務軽減や賃金単価の引き上げを行っております。

問

②く今後ますます不足する可能性が非常に高い保育士の確保策と処遇改善策、本市独自の保育士や事業所への行政支援が厳しいのであれば、国の方針で現在示されている新たな確保策や処遇改善策に準じ、できるだけ速く、確実な実施と、円滑な運用を行うっていかなければならないと思いますが、執行部のご所見を伺います。

答

保育士確保策を含み、速やかに処遇改善額の支給に向けて関連事務に取り組んでまいります。



通学路の危険対策について

柴藤泰輔(天桜会)

問

小学生の通学路の危険対策・防犯対策はどのようにされているのか。

答

登下校時における危険箇所や不審者情報などを含む校区の安全マップを見直し、保護者、地域の関係者と連携・協力をして、子どもたちの安全確保に努めております。最近では、交通事故防止の面ばかりではなく、犯罪防止の面から、学校やPTA、関係機関との連携を図りな

がら、通学路点検を行っております。

問

群馬県太田市では小学生が不審者から自分で身を守ろうと学校周辺を歩いて通学路に潜む危険な場所を調査する活動をしているが、本市でもできないのか。

答

本市においても、現地に出向いたり、危険箇所の映像を見せたりしながら、子どもたちに危険箇所の周知に努める必要があると考えております。

このほかの質問

◆小学生の県外での交流事業について／北朝鮮のミサイル発射に対する避難訓練について



公民館類似施設に関する補助

久保山日出男(自民クラブ)

問

近年、市民協働の場所、防災等の場所などとしてその位置づけが高い町区公民館建設にかかる市からの補助金の額の増額と補助率のアップを検討できないか尋ねる。また、昭和56年の建築基準法の改正前に建設された施設だけでも対象とできないか尋ねる。

答

また、町区公民館は、避難所に行けない高齢者や障害者、妊婦の方々、その他の市民活動の拠点であること

なども考慮し、地域のために、補助金額等の増強を強く要望する。

答

自治会活動や住民の活動拠点、一部では避難場所としても運用されていると認識しているが、他市に比べても高い水準であるため、補助金等の見直しについては考えていない。

このほかの質問◆学校の楽器について／職員の健康管理について／ふるさと寄附について



①歩道橋②健康長寿と口腔ケア
伊藤克也(新風クラブ)

問 ①歩道橋の老朽化対策、耐震化とバリアフリー化の推進について、本市の見解をお伺いしたい。

答 道路管理者である国に確認したところ、5年に1回、点検を行い、優先順位の高いところから順次補修を実施しているところです。また、耐震化については、現在、橋梁を優先的に進めており、歩道橋は、その後、順次取り組んでいく予定とお聞きしております。次に、バリア

フリー化は、地元及び警察等関係機関と協議を重ね、取り扱いを含め検討していく必要があると思います。
問 ②口腔ケアと健康長寿の関係性について、また本市の取り組みについてお聞きしたい。

答 口腔ケアは、歯だけでなく、口の中全般を清潔、健康に保つためのケアで、心身の健康にもつながり、糖尿病や心臓病、認知症等の予防にも効果があると言われています。本市では、妊婦健診、成人の40歳から70歳までの10歳刻みの節目の方を対象に、検診や啓発等の取り組みを行っているところです。



外来生物対策について
中川原豊志(自民クラブ)

問 セアカコケグモやヒアリといった、特定外来生物について、鳥栖市内の発生状況と対応策及び、持ち込ませない為の取り組みについて伺う。

答 市内でのセアカコケグモの発生状況は、平成22年2月に初めて成虫1匹を確認して以来、平成29年8月末現在、発見箇所は12カ所、成虫約160匹、卵のう約90個以上が確認されており、それぞれ駆除をして

おり、これまで咬まれたという報告は受けていない。しかし、市内どこどこでも繁殖している可能性があり、ホームページや回覧文書を通じて、市民の方々に注意喚起を図っている。また、ヒアリについては、まだ市内での発生の報告は上がっていない。しかし、本市はトラックによるコンテナ等が搬入される物流の拠点であることからヒアリの侵入の可能性があり、コンテナの荷主等へヒアリ対策の周知を要請し、水際防除の徹底を図っている。
このほかの質問 ◆京町の防災道路について



給食センターの職員体制
小石弘和(誠和クラブ)

問 これまで、安全・安心な給食の提供を続けるために、給食センターの運営体制について、直営・業務委託を含めた検討を求めてきたが、市の考えを明らかにされない。検討の進捗状況をお尋ねしたい。

答 安全・安心な給食を提供するための運営体制の確立は重要な課題であると認識している。現在、基本的には昨年と同様の体制だが、持ち場のローテーションを行い、全

職員が複数過程の作業を行えるように取り組んでいる。

今後の体制については、直営・委託なども含め、他自治体の運営状況の調査を引き続き実施し、中長期的な視点に立って検討したいと考えている。検討を進めるにあたり、教育委員会の中で、現状分析と課題整理を行い、改善方針案を協議し、市長部局ともしっかりと協議していきたいと考えている。

まずは、現行体制を充実・発展させて、子どもたちに安全・安心な給食を提供することを最優先にした



就学援助制度の拡充について
成富牧男(日本共産党議員団)

問 新入学児童生徒学用品費、いわゆる入学準備金の3月前倒し支給についての見直しは、同じく額の見直し(増額)についてはどうか。いずれも平成30年度新入学分から実施されると考えていいのか。

答 現在、新入学児童生徒学用品費の3月前倒し支給に向けた事務手続きを進めている。具体的には、これに要する経費については、12月補正での対応を予定している。本市

の就学援助要綱の一部改正について、定例教育委員会に諮り、方針を決定することになる。

国の平成29年度要保護児童生徒援助費補助金における新入学児童生徒学用品費の予算単価が約2倍に引き上げられた。学校教育法第19条の規定に鑑みれば、本市としても支給額の見直しは必要であると認識している。このことについても今後、関係課と協議を行いながら検討していきたい。

このほかの質問 ◆加藤田町入りの口信号機設置／北部グラウンド利用拡大



大雨災害対策・特別支援学級 飛松妙子(公明党)

問 幸津町1178番地先付近の市道が大雨のたびに冠水し大変困っていると相談を頂いている。昨年の大雨では、車を買って替えた人もいます。抜本的な対応が必要です。市はどのように考えているのか。

答 今年度、西田川北側地区の雨水整備を行うため実施設計を行った。国の支援を受けながら、来年度からの工事着工を目指している。大雨時の冠水被害を広範囲で解消で

きるよう、鋭意、取り組む。

問 ①特別支援教育の充実について本市の取り組みを伺う。

②自閉症・情緒障がい児児童・生徒は、全体の7割を占めているが、デイジー教科書の活用状況・効果と今後の取り組みについて伺う。

答 ①指導者の資質と生活指導補助員のスキルの向上、福祉との連携、一人一人の教育的ニーズに応じた教育の推進に取り組んでいく。

②教材等の学習環境を整備することは大変重要である。デイジー教科書を、特別支援学級担当者、保護者に周知する機会をつくっていく。



市街地の高度利用について 松隈清之(天桜会)

問 本市の人口増はしばらく続くと見込まれるが、既存市街地では一世帯当たりの人口が減少し、人口密度の低下は避けられない。限られた市街地を有効に活用するために今以上に容積率や用途地域を見直し高度利用を推進するべきではないか。

答 用途地域の変更については住環境に大きな影響があり慎重に対応したい。まずは都市計画マスタープラン策定に伴う地域別のワー

ショップ等で住民の意見を伺いたい。また民間開発業者から高度利用に対する需要の現状を把握したい。

このほかの質問 ◆障害者の自立には経済的な側面が欠かせない。県では経済的自立に対してB型事業所の入所者の工賃目標を定めているが県や市の優先調達での発注では限界がある。新たに税を創設し、広く市民からの支援を募ることは出来ないか。

法人に関しては障害者事業所からの物品やサービスの購入・短期雇用等で税控除する仕組みも有効だと思っが見解を問う。



災害対応について 下田寛(新風クラブ)

問 応急仮設住宅の活用について、鳥栖市独自に、半壊や床上浸水などにも柔軟に対応できるような制度を構築すべきではないか。

答 入居希望者に対し、速やかな判断が出来るよう、事例の収集に努めて参りたいと考えている。鳥栖市から、被災地に向けて災害支援ボランティアを派遣する取り組みは検討出来ないのか。

答 鳥栖市社会福祉協議会と連携して災害ボランティア参加の呼びかけについて検討を行っている。市民の方々の参加へ向けた呼びかけの体制づくりに繋げて参りたい。

問 保存期限が迫った備蓄食料を、防災意識向上のために、学校給食等で活用することは出来ないのか。

答 保存期限をむかえる平成32年度から、小学校の給食で配布するように計画している。



高齢者の居場所創りについて 久保山博幸(自民クラブ)

問 地区まちづくり推進センターでは、健康長寿社会に向けて様々な行事が行われていますが、参加したくても移動手段が無い事から機会を逸しておられる方も多い。地域の方々が歩いて通える町区公民館をまちづくり推進センターの連携場所として更なる活性化が図れないか？地区、市の活性化についてはまずは町区活性化から始まるのではないか。出前講座のカタチで中や社

協と町区公民館がより親しい関係になればと思う。例えばニュースポーツである「卓球バレー」等の開催で町区公民館が賑やかな高齢者の居場所になればと願うが如何か？

答 町区公民館や集会所等で、主に集い介護予防に効果のある体操をしたりレクリエーションを行う場、地域住民相互の交流の場となる通い場の立ち上げを平成27年度から実施し、現在16町区の参加となっている。センター主催事業から町区公民館での自主的取り組みへと連携、活用を図っている所です。



味坂インターの
早期実現を！
古賀和仁(自民クラブ)

問

味坂スマートインターの取り
組み状況について尋ねる。現在、
福岡・佐賀県、鳥栖・小郡市で、味
坂スマートインターチェンジの準備
会が発足して、調査研究が行われて
いるとの事です。周辺の道路や土地
利用についても、一緒に取り組むべ
きと思うが、本市の見解をお尋ねし
ます。

答

本年7月に、国の準備段階調
査箇所を選定されたのを受け、



次期ごみ処理
施設について
藤田昌隆(新風クラブ)

問

次期ごみ処理施設は平成35年
完成に向けて準備が急がれてい
ますが、基本方針にかかわる最終処
分場の扱い、現施設の問題点、次期
ごみ処理施設周辺の道路整備計画に
ついてお尋ねします。

答

5つの基本方針の1つとして
「環境に優しく、資源循環型社会
を推進する施設」を掲げており、具
体的には処理生成物の資源化により
最終処分量を削減できる施設を整備

関係自治体に国交省、西日本高速道
路(株)、警察を加えて、インター
の位置調整をして、事業化をめざす。
周辺の道路や、土地利用については、
土地利用構想を策定する中で、イン
フラ整備も含めて、新たな企業誘致
の拠点を形成したい。
このほかの質問 ◆市営住宅における
高齢者対策と住環境の改善について
／空き家の実態調査を踏まえた空き
家の利活用への取り組みを／文化芸
能(獅子舞等)の振興と一堂に会し
たイベント実施について

いたします。最終処分場を整備する
ことは、現段階では考えておりませ
ん。しかし処理生成物の資源化が困
難になった場合も想定する必要があ
ると認識しております。現施設での
維持管理費については、各施設を一
律に比較することはできませんが、
2〜3割高、また耐用年数でも他施
設は30年ですが、本施設は20年です。
これらの点も含め基本計画に盛り込
みます。道路整備については、県道・
市道の拡幅等に対応し、場内の車両
動線も確保し、周辺交通に影響を及
ぼさないよう整備を行います。

新しい鳥栖市議会が始まります！

平成29年11月19日の市議会議員選挙で当選
された市議会議員は以下のとおりです。
任期は平成29年11月30日から4年間です。

- | | | |
|--------|-------|-------|
| 小石弘和 | 中村直人 | 松隈清之 |
| 森山林 | 藤田昌隆 | 西依義規 |
| 齊藤正治 | 久保山博幸 | 樋口伸一郎 |
| 内川隆則 | 中川原豊志 | 池田利幸 |
| 成富牧男 | 江副康成 | 牧瀬昭子 |
| 久保山日出男 | 飛松妙子 | 下田寛 |
| 尼寺省悟 | 伊藤克也 | |
| 古賀和仁 | 竹下繁己 | |
- ※年齢順に記載
しています

議員名簿
(詳細版)



競馬場の分配金
を整備基金へ
齊藤正治(自民クラブ)

問

鳥栖市総合計画に示してある
土地利用計画において、競馬場
周辺の産業廃棄物施設が設置してい
る現状では、土地利用計画上、適正
でない市の見解が示され、「市は、
土地利用計画は、まちづくりにおけ
る、目指すべき姿を示し、目指すべ
き姿に近づける必要があり、課題を
把握し、土地利用の総合的、計画的
な調整を行っていく。」とされてお
り、今後、具体的に計画に反映され

答

競馬場から配分されます分
配金の活用については、議員
からのご指摘もふまえ、対応してい
きます。
るべきと考える。また、競馬場の経
営が好調なことから、分配金が構成
団体の佐賀県と鳥栖市に、本年より
配分されており、佐賀競馬場の拠点
である周辺の、産業廃棄物施設等で
荒廃した、自然環境を再生させるた
めには、公共投資による自然公園や
運動広場等を整備するため、環境整
備基金として、佐賀県と共に取り組
まれるよう要望いたしますがいかが
でしょうか。

9月定例会の付議事件と議決結果

◆全会一致（全員賛成）で可決されたもの

	件名	議決結果
市 長 提 出	平成29年度 補正予算 一般会計、特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、産業団地造成）	原案可決
	平成28年度 決算 特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、農業集落排水、産業団地造成）、水道事業会計、下水道事業会計	認 定
	水道事業剰余金の処分、下水道事業剰余金の処分	原案可決
	市犯罪被害者等支援条例 〔犯罪被害者等基本法に基づき、犯罪被害者等の支援に関し基本となる事項を定めるもの〕	
	市道路線の廃止及び認定〔廃止4路線、認定30路線〕	
	佐賀県東部環境施設組合の設立 〔鳥栖市、神崎市、吉野ヶ里町、上峰町及びみやき町で、ごみ処理施設の設置及び管理運営に関する事務を共同処理するため、佐賀県東部環境施設組合を設立〕	
	財産（小型動力ポンプ付積載車）の取得 〔鳥栖市消防団において使用する小型動力ポンプ付積載車（4台）の取得〕	同 意
	教育委員会委員の任命〔副田ひろみ氏（西新町）〕	
	固定資産評価審査委員会委員の選任〔尼寺学氏（原古賀町）〕	異議なし
	人権擁護委員候補者の推薦〔山内久仁子氏（田代大官町）〕	
人権擁護委員候補者の推薦〔古賀啓氏（酒井東町）〕	原案可決	
地方財政の充実・強化を求める意見書（案）		
市議会委員会条例の一部改正〔総務文教常任委員会の定数を増やし、建設経済常任委員会の定数を減らすもの〕		
市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正 〔市議会議員の活動休止事由や活動休止期間中の報酬の減額等を定めるもの〕		

◆賛否が分かれたもの

	件名	議員名														議決結果								
		西 依 規	伊 藤 也	下 田 寛	飛 松 子	樋 口 伸 郎	柴 藤 泰 輔	江 副 康 成	久 保 山 博 幸	中 川 原 豊 志	久 保 山 日 出 男	内 川 隆 則	藤 田 昌 隆	国 松 敏 昭	尼 寺 省 悟		成 富 牧 男	小 石 弘 和	松 隈 清 之 仁	古 賀 和 正	齊 藤 正 治	森 山 林		
市 提 出	平成28年度 一般会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	認 定
議 員 提 出	核兵器禁止条約の批准を求める意見書（案）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	否 決	
	佐賀空港へのオスプレイ等の配備計画に反対する意見書（案）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●		

○=賛成 ●=反対 欠=欠席 ※議長（中村直人）は表決には参加しません

議会日誌

7月

- 5日 議会運営委員会
- 11日 厚生常任委員会
市議会だより編集委員会
- 12日 7月臨時会
- 21日 全員協議会

8月

- 3日 鳥栖駅周辺整備調査研究特別委員会
- 17日 佐賀県市議会議長会議員研修会（伊万里市）
- 23日 総務文教常任委員会
- 28日 会派代表者会
議会運営委員会

9月

- 1日～10月5日 9月定例会
- 1日 鳥栖駅周辺整備調査研究特別委員会
市議会だより編集委員会
- 12日 議会改革検討会
- 21日 市議会だより編集委員会
- 22日 佐賀県市議会正副議長会（嬉野市）
- 28日 市議会だより編集委員会

■他議会からの視察来庁【7月～9月】
 近江八幡市（滋賀県） 丸亀市（香川県）
 たつの市（兵庫県） 富士宮市（静岡県）
 八千代市（千葉県） 日立市（茨城県）
 伊賀市（三重県） 四日市市（三重県）
 以上8議会 [来庁者合45計名]

ご存知ですか？スマホで市議会！

市議会本会議の中継をスマートフォンやタブレットで見られます。市民のみなさまが選んだ市議会議員が鳥栖市の現状や未来を議論している現場を、ぜひご覧ください。

また、市議会の会期日程や議決結果、お知らせなども載せております。



市議会中継はこちら→



会議の結果はこちら→



**次回定例会は
12月上旬からの予定です。
ぜひ傍聴にお越しください。
ご意見はこちらまで。**

電話 0942-85-3525
メール gikai@city.tosu.lg.jp

意見書

opinion

■地方財政の充実・強化を求める意見書

提出：自民、新風、天桜、社民、共産

※上記の意見書は、国会及び関係行政庁に送付しました。

陳情

petition

■「ニッポン一億総活躍プラン」を地域社会で実践する シルバー人材センターの決意と支援の要望

公益社団法人 鳥栖市シルバー人材センター

理事長 佐藤 忠克

■「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する 陳情について

全国森林環境税創設促進議員連盟

会長 板垣 一徳

■新市庁舎・鳥栖市公共施設に再生可能エネルギーの 導入を求める要望書

原発を考える鳥栖の会

代表 野中 宏樹

■地球で生き続ける為の地球社会建設希望決議を、今、 して頂きたい陳情書

荒木 實

■JR鳥栖駅舎を鳥栖市の歴史的な文化遺産として 残す事への要望

JR鳥栖駅舎を鳥栖市の歴史的な文化遺産として
限定的な部分を移築し残す事を要望する市民の会

代表者 木口 毅

■平成30年度 理科教育設備整備費等補助金予算増額 計上についてのご願い

公益社団法人日本理科教育振興協会

会長 大久保 昇

編集後記

早いもので、任期最後の市議会です。この4年間、市議会だよりを読み頂き、ご意見をありがとうございました。これまで編集委員会のメンバーにて、顔写真の掲載・視察報告など、新たな取り組みもいたしました。紙面の充実に取り組み、まいりました。今後、議員活動の見える化に努めてまいります。次回の市議会だよりから、『新しい鳥栖の姿』としてお示しできるように挑戦してまいります。ご意見は、

(飛松妙子)